

精密機械メーカーの神津精機(川崎市)に高精度位置決め装置の注文が相次いでいる。光ディスクの動画・音声信号を正確に読み取って再生するには、光ピックアップ部品を所定の位置にしっかりと

躍進企業 かながわ

神津精機(精密機械の製造・販売)



高精度の位置決め装置を1台ずつ丁寧に組み立てる(本社工場)



神津博行社長

位置決め装置300種類 内外で高評価も

同社は神津社長の祖父が一九五七年、東京・世田谷で有限会社を設立。測定器の修理のほか自動車ランプの検査装置、レーザー光学機器も扱い、ウハウを蓄積した。八〇社と工場を統合・移転した。当時は事業所が八カ

りと組み込む必要があるためだ。大容量光ディスクの本格普及を前に、A V(音響・映像)各社の製造ラインで不可欠になっている。

「AV向けの位置決め装置は生産が追い付かない」と神津博行社長は話も多し。二一三カ月前まで出荷計画が固まっていた状態。神津社長は「保守・点検も新サービスに

なると考えある顧客企業に提案したが、「メンテナンスよりも新品が早くほしい」と断られたほ

年代後半に位置決め装置の仕様を統一し「モンブラン」とブランド名を付けたところから、顧客の認知度も急速に高まった。

川崎市麻生区の「かわえは約三百種類。ジャス折システムを米航空宇宙局(NASA)が採用。躍に新たな課題に直面している。

所に分散しており、効率化が課題だった。地価が下がった時期と重なり、市の熱心な誘致もあって移転を決めた。

位置決め装置の品ぞろえは約三百種類。ジャス折システムを米航空宇宙局(NASA)が採用。躍に新たな課題に直面している。

など競合が多いため、設備を押し上げた。回折装置に工夫を凝らして耐久性などを上げ、違いを出し、神津社長は「価格競争は厳しいが、品質を落としてまで安くはできない」と言い切る。

ライバルと異なるのはもう一本の柱である「実験・研究用精密機器」が内外の研究機関に高く評価されている点だ。例えば放射光用二結晶エックス線分光器は、米アルゴン国立研究所など海外の研究機関に五十台を納入。研究者の間で「KHZU」の知名度は高いという。国内の納入台数も七十台を上回った。

〇六年にエックス線回折システムを米航空宇宙局(NASA)が採用。躍に新たな課題に直面している。

「実験・研究用の精密機械の単価は一台数千円」としてまで安くはできない」と言い切る。

実験・研究用の精密機械の単価は一台数千円としてまで安くはできない」と言い切る。

実験・研究用の精密機械の単価は一台数千円としてまで安くはできない」と言い切る。

実験・研究用の精密機械の単価は一台数千円としてまで安くはできない」と言い切る。

【会社概要】

▽本社	川崎市麻生区 栗木2-6-15
▽設立	1957年
▽事業内容	産業用、研究用精密機械の製造・販売
▽売上高	25億6300万円(2007年9月期、単独)
▽経常利益	1億600万円(同)
▽従業員数	約140人